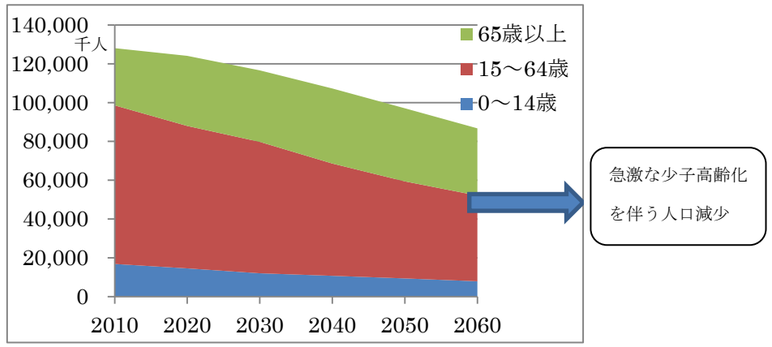
平成 24 年度　政策課題研究＜四王寺塾＞　研究報告概要版　第１班

人口減少～国際交流人口の獲得～

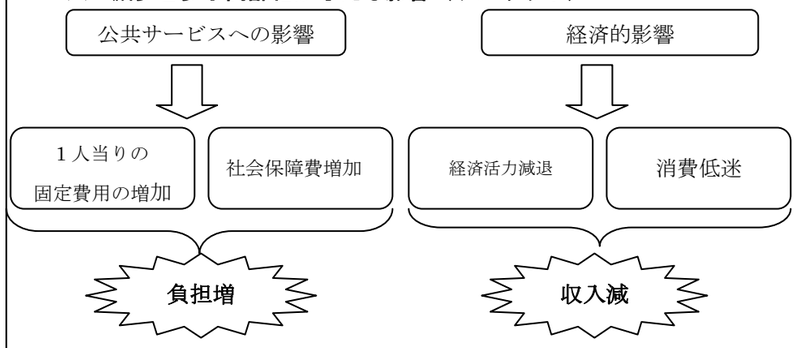
第１章　日本の人口減少社会とは

１．人口減少の将来推計（出生中位）



資料:「国立社会保障・人口問題研究所」

２．人口減少と少子高齢化が与える影響（デメリット）



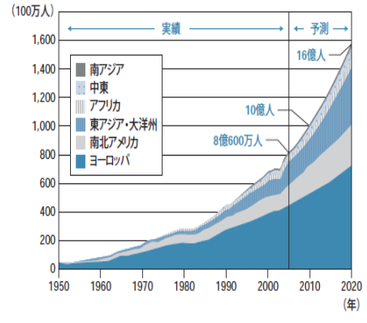
３．自治体が取り組むべき対策とは

- **人口減少適応策**・・・女性・高齢者の活用、行財政改革など
- **少子化抑制策**・・・・生みやすい環境、育てやすい環境など
- **定住化促進策**・・・・地域ブランド、公費補助など
- **交流人口増加策**・・・国内観光客、外国人観光客

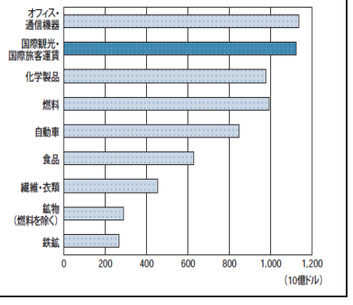
第２章　観光産業の現状と国際交流人口増加の可能性

１．世界の観光産業の現状

①国際観光客到着数



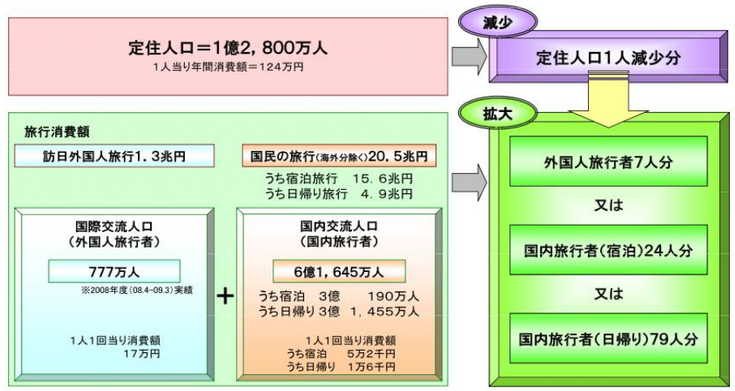
②観光産業は世界の輸出高総額の「第２位」



出典：「世界観光機構（UNWTO）」

２．定住人口１人を補うためには

出典：観光庁



３．福岡県のポテンシャル～日本でも上位の輸送実績を誇る「福岡空港」～

世界8カ国20都市を結ぶ

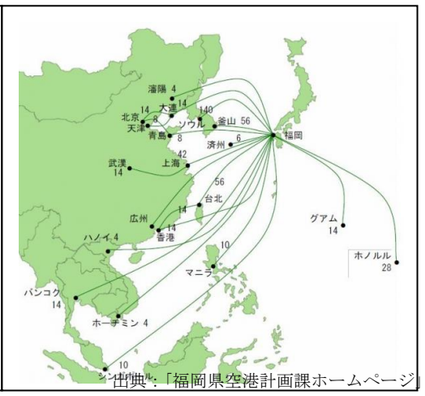
・20都市のうちグアム、ホノルルを除いた18都市がアジア地域への路線

国際線424便／週運航

・国内線１日あたり358便を含めると、国内でも上位の輸送実績を誇る

外国人入国者数81万人

・全国の外国人入国者数は944万人であり、10%近くを福岡県が占めている



出典：「福岡県空港計画課ホームページ」

第３章　政府と九州の観光戦略

１．国（政府）の観光戦略

①観光立国推進基本計画

外国人観光客入国者数に関する目標（2016 年）

2010年 861万人 ⇒ 2016年 1，800万人

２．九州の観光戦略

①第三次九州観光戦略（2011～2013 年度）の骨子

- 戦略Ⅰ　九州の魅力を磨きブランド化する戦略
- 戦略Ⅱ　国内大都市圏など誘客戦略
- 戦略Ⅲ　海外からの誘客戦略

②**海外からの誘客戦略～**第三次九州観光戦略の数値目標～

- 九州への入国外国人数を 150 万人
- 九州での外国人延べ宿泊者数を 220 万人

第４章　先進地の視察

１．浜松市（静岡県）

①「ものづくり」から「観光」を経済成長の柱へ

②ターゲットを「中国、韓国、台湾、タイ」の４カ国に絞り、事業を展開

③民間との協働と広域連携

２．株式会社 宿場 JAPAN（東京都品川区）

①個人旅行者（おもにバックパッカー）をターゲットとしたゲストハウス

②日本の文化に触れたい旅行者と活性化したい地域とを結び付け地域活性に繋げる

第５章　政策提言

１．国際交流人口の獲得に必要となる施策

マーケティングの実践	・ターゲットの明確化 ・観光資源の展開・活用 ・情報発信 ・広域連携
地域の魅力をブランド化	・地域資源の活用と発掘～意外なものが観光資源に～ ・ニューツーリズム ・地元商品のブランド化
受入体制の整備	・地域の受入体制 ・国際交流人口増加コーディネーター発掘と育成 ・地域の理解促進～外国語講座の開催～ ・言葉の壁を超える安心感の醸成 ・ゲストハウス～生かせる空き家・空き店舗 ・地域資源活性化促進の補助金交付事業

２．戦略実践へのプロセス

実・年度 / 項目	1年目				2年目				3年目			
	第１期	第２期	第３期	第４期	第１期	第２期	第３期	第４期	第１期	第２期	第３期	第４期
1．ターゲットの明確化												
(1)趣向調査・分析												
(2)ターゲットの絞込												
2．地域資源の活用												
(1)地域資源の分析												
(2)新たな地域資源の発掘												
(3)地域の魅力のブランド化												
(4)地元商品のブランド化												
(5)各種観光資源の展開												
3．受入体制の整備												
(1)地域理解の促進												
(2)コーディネーターの発掘と育成												
(3)案内板等の環境整備												
4．情報発信												
(1)発信手法の検討												
(2)ターゲットへのPR活動												
5．広域連携												
(1)協議会等の設置												
(2)観光資源等の連携												